

NPO (特定非営利活動) 法人 笠岡を元気にする会

本会は、2012年5月に結成され、同年9月12日にNPO法人の認証を受けました。
活動の視点を、笠岡の元気を創る“まちおこし”とし、特に、①島、②農村、③商店街、④干拓の活性化支援を行い、同時に社会的弱者の方々の“さいごの砦”“駆け込み寺”として、会員のみなさん方と力を合わせて、生活相談を強めていきたいと思ひます。

元気会 〒714-0085 笠岡市四番町3-20 TEL 63-0911 HP <http://kasaoka-genkikai.com>
(「元気会」の事務所は、笠岡グランドホテル正面です 気軽にお立ち寄りください)

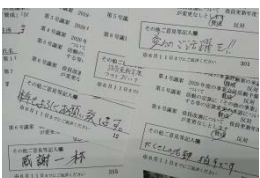
No.98 2020年7月1日発行

第8回通常総会 コロナのため書面会議



—すべての議案が可決されました—

書面会議は、全ての正会員のみなさまの意志が求められるために、色々ご迷惑をお掛けしましたが、右記のとおり、全ての議案が可決されました。



7月中に、この結果と議案及び収支報告を岡山県に報告・提出いたします。返信はがきには多くの方々から、激励のメッセージをいただき、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

書面会議の結果

- 議決を有する正会員131名
- 第1号議案 2019年活動報告 賛成120人 反対0人 未回収11人
 - 第2号議案 2019年決算承認
 - 第3号議案 2020年事業計画
 - 第4号議案 2020年活動予算
 - 第5号議案 定款にその他事業を追加する案件 賛成119人 反対1人 未回収11人
 - 第6号議案 役員再任 反対意見⇒役員名簿の添付が無いから
- 以上の結果、承認されました

再任された新役員

- | | |
|------|-------|
| 理事長 | 柚木 義和 |
| 副理事長 | 前田 秀子 |
| 理事 | 鳴本 浩二 |
| | 河田 仁志 |
| | 佐々木 純 |
| | 森本 洋子 |
| | 原田 明夫 |
| | 柚木 太陽 |
| 監事 | 加藤 秀雄 |
| | 高木 勇三 |
- 任期は2年間です どうぞよろしく!

東京オリンピックBMX 笠岡の生んだヒーロー

長迫吉拓選手 リオに続き 2大会連続出場



市民あげて 大声援 大応援を!

6月9日、正式に東京オリンピックBMXレーシング代表に決定されました。元気会は、「長迫吉拓選手を応援する会」(会長 鳴本哲矢 商工会議所 会頭)の事務局を引き受けていますが、これほどコロナ禍の中で、笠岡市民を勇気づけ、励ましてくれる明るい

ニュースはありません。長迫選手のお父さん、お母さん(干拓・長迫パラ園)は、元気会員のなかまです。オリンピックは、来年7月23日。メダルを胸に持てるよう、みんなで物心両面で長迫選手を大応援しましょう!

第1弾

6月9日の決定から

第2弾

ちょうど

出場決定1ヶ月記念
長迫オリンピックバラ
差し上げます

オリンピック開会式 1年前イベント
7月23日(木・祝) 午前11:00~12:00
長迫オリンピックバラ
プレゼントイベント

父母の丹精込めた長迫BMXバラ
どちらも笠岡グランドホテル向かい元気会事務所前(先着100名様)

長迫選手は県外合宿中のため
バラ造りのお父さんがプレゼンターです



続々とありがとうございます！



掃除機 卓球台 テレビ 洗濯機 事務機

玄関前の花 カラオケ 電動カー ホワイトボード

先月号で
お願いしたところ
こんなにいただきました。
生活介護三洋で活用
させていただきます。



福島 ↔ 笠岡 ひまわり交流



セサナでひまわり種を運ぶ

大空を結ぶ
平和と復興の
願い

エアレース世界チャンピオンの室屋義秀選手（福島）との交流の縁で、笠岡ひまわりプロジェクトの大島の子供たちが、6月20日、福島からのひまわりの種を干拓に植え、復興を願いました。

田植えのようにヒマワリ植え

コロナ解禁 元気に高齢者スポーツ再開



グラウンドゴルフ ゲートボール バタンク

障がいがあっても コロナでも 笑顔で がんばる三洋・さとみの みんな



軍手づくりを始めました

定番のフルツキャップ

農福連携フコフームでも頑張ってます

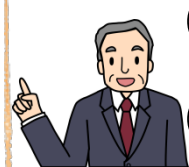
娯楽室にはビリヤード、パチンコ機も備えました

福祉施策審議会

6月25日 (土)

令和3年から以後の3年間の障がい者、高齢者の施策方向を決めます。
理事長が委員の一人です。ご要望、ご意見、ご提案があれば、ご一報を！

求人 急募!



- ①市役所当直 60歳代男性
- ②水島方面作業労務 (送迎付き)

連載

元気かい? 生活相談

泣き笑ひの秘密 No.4

元気会生活相談活動の中から、
“暮らしの谷間を埋める”
紹介シリーズ 今回は“強制退去”

60歳代の男性が駆け込んで来た。

「市営住宅に住んでいるのだが、この度、市役所から退去命令が出た。今日、裁判があって、このままでは強制退去される。金もない。どうにかならんか？」

「そりやまた大袈裟じゃナア。市役所が退去で裁判までするとは、余程アンタが言う事を聞かんか、違法な事をしとるナア。突然、退去せえはないんだから、今まで何回も注意が来とるでしよう。何を違法な事しとる？」

「94歳の母と二人暮らしじゃ。母がさみしいと言って猫を飼ってる」

「猫は、市営ではダメなんじゃけど、家の中で1匹飼ってる位で、市がそんなにヤカマシクは言わんよ。ほかに何か違法をしとるんじゃろう？」

「猫を19匹飼ってる」

「ゲエ！そりやダメだ。エサをやるな。」

そうすればネコはエサが無ければ散々となる。アンタが裁判で負けるのは当然だ。」

「猫にエサをやらねば動物虐待になる。」

「ナルカ！犬と違ってネコは保健所に届けをしない。愛玩動物でエサをやらなければ増えない。ネコの面倒より、高齢の母親の面倒を一生懸命みることじゃ」

そこで、市内低家賃民間住宅の世話をし、この度、人間だけが無事に引っ越しました。引越を元気会メンバーが手伝い、民間住宅借り入れ敷金などに、「コロナ10万円」が役立ったことも確かです。

ヤレヤレ♪



元気夏まつり

7月24日 (金) 夕方

元気会に集う、就労支援や発達障がい事業所のなかま、もちろん会員の方々もフリー参加で。三洋ロビー・駐車場・スイカ割り・花火：小松の料理

毎週金曜日
元気高齢者の
マイクロバスの旅
集え～・ひまわり



6月5日 日本に一本しかない 桑の木ヒックスマルベリーを見に
6月12日 BMX代表の 長迫選手と記念写真 役得です
6月19日 福山競馬場跡の J.Aふくふく市に